

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年11月14日）

1 主な報告等

(1) 国指定史跡浦添城址における文化財保護法違反事件被疑者らの検挙について

委員から、多角的な捜査により迅速に被疑者らを特定し、検挙したことを評価する。若者は、墓や拝所に対する畏敬の念が低く、今後、このような模倣犯の発生も懸念される。また、新聞、テレビ等のマスメディアを含め、若者の情報入手手段であるSNS等により、文化財等の重要性及びこの種犯罪を犯すと検挙され、社会的反響が大きいことを認識させるための情報発信をしていただきたい旨の発言があった。

(2) 「薬物銃器犯罪根絶の集い・沖縄大会」の開催について

委員から、薬物銃器に対する県民の意識を把握するためにも、このような機会に来場者に対するアンケートを実施して、その結果等を今後の警察活動に活かしていただきたい。また、沖縄県は海に囲まれた島嶼県であることから、薬物、銃器の水際対策にもしっかりと取り組んでいただきたい旨の発言があった。

(3) 沖縄本島北部における大雨に伴う災害警備活動について

委員から、記録的短時間大雨情報の発表に伴い、迅速に名護署員や機動隊員等を緊急招集して、迅速的確に自然災害等の対応に当たったことや今回、幸いにして人的被害がなかったことを高く評価する。沖縄県は大規模な山岳や河川が少ないという地理的条件を含め、水害に対する県民の防災意識が低く感じられる。今回の災害対応と併せて新たな危険箇所等の把握など、様々なシミュレーションと警察官の対応訓練を重ねて今後の自然災害に対応していただきたい旨の発言があった。

(4) 本部長総括

本部長から、11月18日（月）付けで警察大学校組織犯罪対策教養部長へ異動となる。在任中は、県警察の組織運営に関し、沖縄県公安委員からの的確な御指導と御助言をいただき、感謝申し上げます。各種警察行政を推進していく上で、公安委員会が、警察の民主的運営と政治的中立性を確保しつつ、我々沖縄県警察をきちんと管理していたのだということを改めて認識した。新たな本部長の下、新しい視点で県警察の諸課題に取り組むこととなるが、引き続き管理、御指導賜りますようお願い申し上げます旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会あて意見要望について
- ・ 殉職警察職員慰霊祭について
- ・ 裁決書の決裁について
- ・ 審査請求の受付について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 弁明書の作成について